



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Takashi HANANOI

GAU: 2131

SERIAL NO: 10/790,018

EXAMINER:

FILED: March 2, 2004

FOR: GUIDANCE OUTPUT METHOD, ELECTRONIC APPARATUS AND COMPUTER-READABLE STORAGE MEDIUM

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e):
Application No. Date Filed

☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2003-064242	March 10, 2003
JAPAN	2004-035002	February 12, 2004

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
☐ are submitted herewith
☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.


Marvin J. Spivak
Registration No. 24,913

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

Joseph A. Scafetta, Jr.
Registration No. 26,803

10/190,018

BEST AVAILABLE COPY

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 3 月 1 0 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 6 4 2 4 2
Application Number:
ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 6 4 2 4 2]

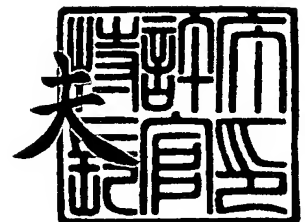
願 人
Applicant(s): 株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 3 年 1 1 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 9 5 4 0 1

【書類名】 特許願

【整理番号】 0202986

【提出日】 平成15年 3月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03G 15/00 550

【発明の名称】 情報処理装置

【請求項の数】 2

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
株式会社 リコー内

【氏名】 花野井 隆

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社 リコー

【代表者】 桜井 正光

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003724

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接触センサを内蔵するデカルと、デカルを表示する操作表示手段と、操作表示手段に表示されたデカルを用紙に印刷する印刷手段と、各手段を制御するメイン制御手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の情報処理装置において、操作表示手段に表示されたデカルを色変換して用紙に印刷する機能を有することを特徴とする情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置に関し、特に操作効率を向上させるための技術に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

情報処理装置においては例えば、原稿、用紙のジャムが発生したときにはジャム処理位置やジャム除去手順を示したデカルを見てそれを基にジャム処理操作をしている。また、原稿や用紙のセット方法やインクジェット紙、OHP 紙などの用紙の取り扱い注意などを示したデカルやレーザー、高温部に注意を促すデカル、さらには商品名、定格電圧、定格電流を示す定格銘板といったデカル類に注視しながら操作をすることが比較的多い。

しかし、このような表示は機器の比較的下部にあったり、扉の裏側にあることが多い。また、経時で機器内部の汚れも受け埃にまみれてくることもあったり、または設定内容の多様化を受け表示項目が多く操作者の視力を考慮しきれずに操作者にとって見にくい小さな文字で表示案内している場合もある。さらには色識別しにくい色の絵や色文字が使用されている場合もあり色弱者の操作者ではもちろん、そうでなくても色を見間違える場合もあるため、見にくさから表示内容を誤解して操作時にミスしてしまう場合がある。

【 0 0 0 3 】**【発明が解決しようとする課題】**

上記の不具合を防ぐためには、何度も目を凝らしてデカルを見返し内容を確認してから操作を行わなければならない、操作性が悪かった。また、プラスチックなどの樹脂材のリサイクルを目的として操作説明を記したデカルなどをはがしやすく構成している機器などでは、デカルを取り外してそれを注視しながら操作したのち、またそのデカルを元に戻さなければならない手間がかかり操作性が悪かった。

そこで、本発明は、デカルの確認が容易で円滑な操作が可能な情報処理装置を提供することを目的とする。

【 0 0 0 4 】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の発明は、接触センサを内蔵するデカルと、デカルを表示する操作表示手段と、操作表示手段に表示されたデカルを用紙に印刷する印刷手段と、各手段を制御するメイン制御手段とを備えた情報処理装置を最も主要な特徴とする。

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の情報処理装置において、操作表示手段に表示されたデカルを色変換して用紙に印刷する機能を有する情報処理装置を主要な特徴とする。

【 0 0 0 5 】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を図面に従って説明する。

図 1 は本発明の実施の形態に係る情報処理装置の機能ブロック図である。本情報処理装置において、メイン制御部 1（メイン制御手段）は、CPU 2 と、ROM 3 と、RAM 4 と、プロセス制御部 5 と、インターフェイス部 6 とから構成されており、これら CPU 2 と ROM 3 と RAM 4 と プロセス制御部 5 と インターフェイス部 6 は相互に接続されている。

CPU 2 は、格納プログラムに基づいて所定の情報処理制御動作を実行する。ROM 3 は、各種の制御処理を実行するためのプログラム、予め登録された装置

の各種デカル（接触センサ内蔵デカル 7）の位置及び表示情報や操作部 8 の表示プログラム、色変換シーケンスプログラムなどが格納されている。RAM 4 は、CPU 2 によって処理された結果やデータを一時的に記録する。

プロセス制御部 5 は、各種画像に対してプロセス処理する。インターフェイス部 6 は、例えば、ゲートアレイなどで形成されており、“デカル類コピーモード”を任意に設定したり選択されたデカルを表示したり、色変換指定やキー入力できる操作部 8（操作表示手段）、画像データを用紙に転写して出力するプリンタ 9（印刷手段）などが接続されている。そして、インターフェイス部 6 は、CPU 2 のインターフェイス、プロセス制御、プリンタ制御などを行うようになっている。

本発明では、以上のように構成された制御系において、予め、操作部 8 より入力された“デカル類コピーモード”の設定解除を認知し、選択された任意のデカル表示を行い、自然に操作できるようにする。

【0006】

図 2 は操作部のレイアウト図である。操作部 8 は中央に表示画面 8-1 を有している。図 3 はデカルの一例を示す図、図 4 は図 3 に示すデカルを表示画面に示す図である。

図 5 は本発明の情報処理装置における制御フローチャートである。この制御は ROM 3 に格納されているプログラムによるものである。

図 5 のフローチャートにおいて、まず、操作部 8 にて、“デカル類コピーモード”が設定されているか否かを判断する（S1）。“デカル類コピーモード”が解除されていると（S1 で“NO：解除”）、再び、“デカル類コピーモード”が設定されているか否かを繰り返し判断する。“デカル類コピーモード”が設定されていると（S1 で“YES：設定”）、操作者によってデカル 7 に手で触ることで、デカルが選択されたことが判断され（S2）、選択されていると（S2 で“あり”）、次に操作者が選択した任意のデカル情報を操作部 8 の表示画面 8-1 上に表示し（S3）、任意のデカルが指定されないと（S2 で“無し”）繰り返し判断する。

操作部 8（の表示画面 8-1）上のデカル情報を色変換する“色変換キー”あ

るいは元の表示に戻る“戻るキー”が押下されたか否か判断する（S 4）。“色変換キー”が押下されていると（S 4で“コピーキー押下”）、そのデカル表示が指示された内容に色変換され操作部 8 に表示される（S 5）。ステップ S 4 で、元の表示に戻る“戻るキー”が押下されていると（S 4で“戻るキー押下”）、操作部 8 を通常が表示に戻して操作部 8 上のデカル情報をコピーする“コピーキー”あるいは元の表示に戻る“戻るキー”が押下されたか否か判断する（S 6）。

“コピーキー”が押下されていると（S 6で“コピーキー押下”）、そのデカル表示が用紙に転写出力され、操作部 8 を通常が表示にして（S 7）終了する。ステップ S 6 で、元の表示に戻る“戻るキー”が押下されていると（S 6で“戻るキー押下”）、操作部 8 を通常が表示に戻して（S 8）操作者によって“デカル類コピーモード”が設定されているか否かを繰り返し判断する（S 1）。

デカル類コピーモードを設定解除できるようにしているので、例えばデカル類コピーモードが働いて操作部 8 上に任意のデカルが表示されなくてもそのままの表示で何ら操作上支障なければ、デカル類コピーモードを設定解除して意図する状況と一致させることができる。

【0 0 0 7】

【発明の効果】

請求項 1 の情報処理装置においては、接触センサを内蔵するデカルと、デカルを表示する操作表示手段と、操作表示手段に表示されたデカルを用紙に印刷する印刷手段と、各手段を制御するメイン制御手段とを備え、操作に必要なデカルを用紙に印刷してその内容を確認できるようにしたので、デカルの確認が容易で円滑な操作が可能な情報処理装置を提供することができる。

請求項 2 の情報処理装置においては、上記の効果に加え、色識別しにくい色の絵や色文字であっても見やすい状態に色変換されるので、より操作効率を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態に係る情報処理装置の機能ブロック図である。

【図 2】

操作部のレイアウト図である。

【図 3】

デカルの一例を示す図である。

【図 4】

図 3 に示すデカルを表示画面に示す図である。

【図 5】

本発明の情報処理装置における制御フローチャートである。

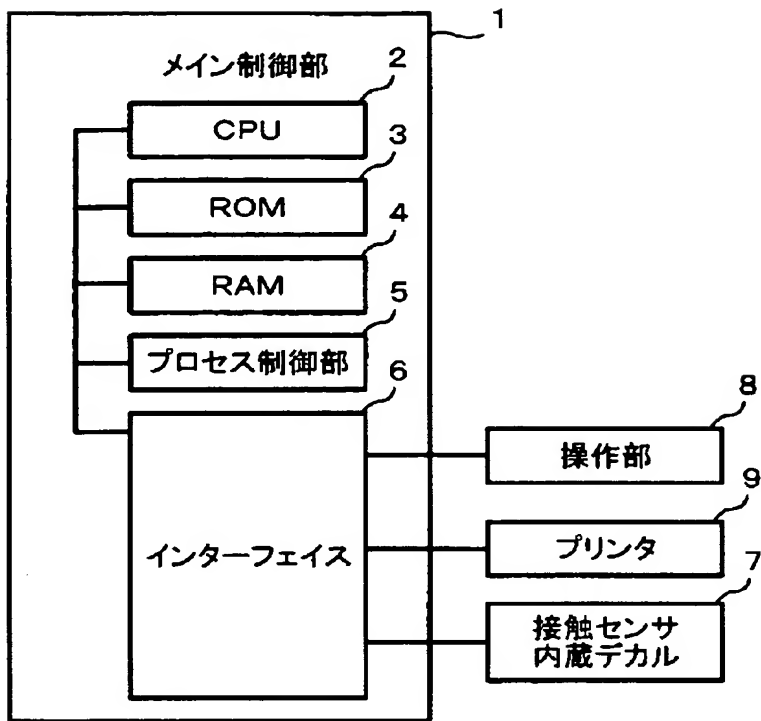
【符号の説明】

- 1 メイン制御部（メイン制御手段）
- 7 接触センサ内蔵デカル
- 8 操作部（操作表示手段）
- 9 プリンタ（印刷手段）

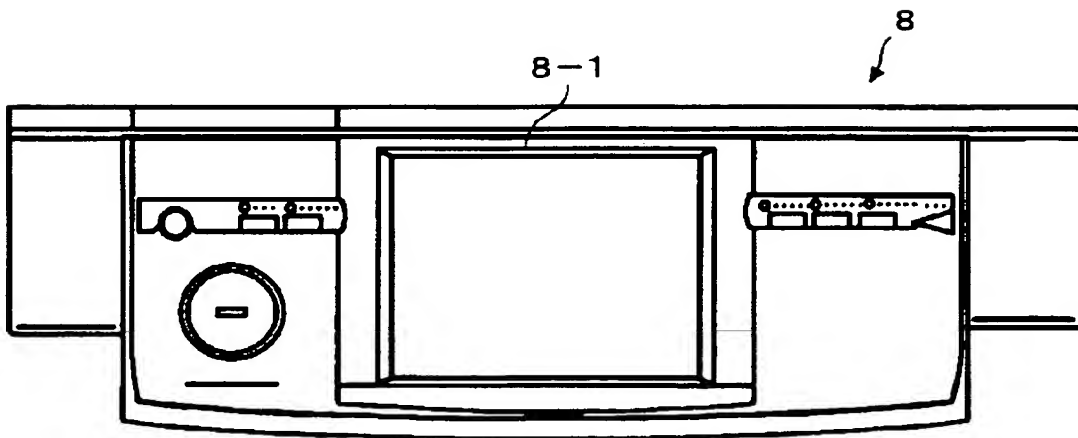
【書類名】

図面

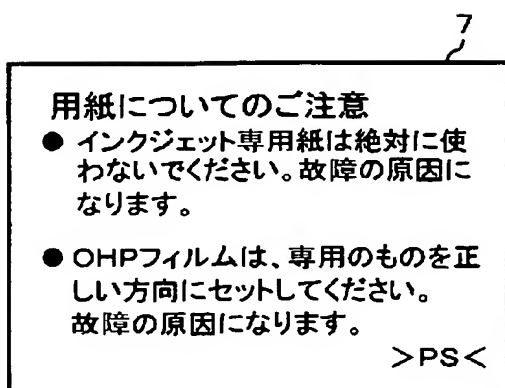
【図 1】



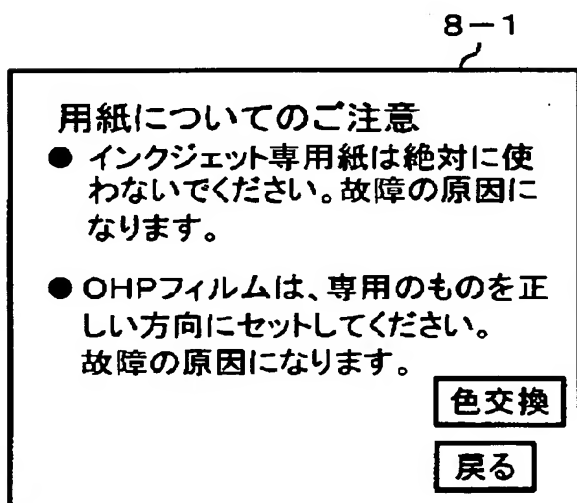
【図 2】



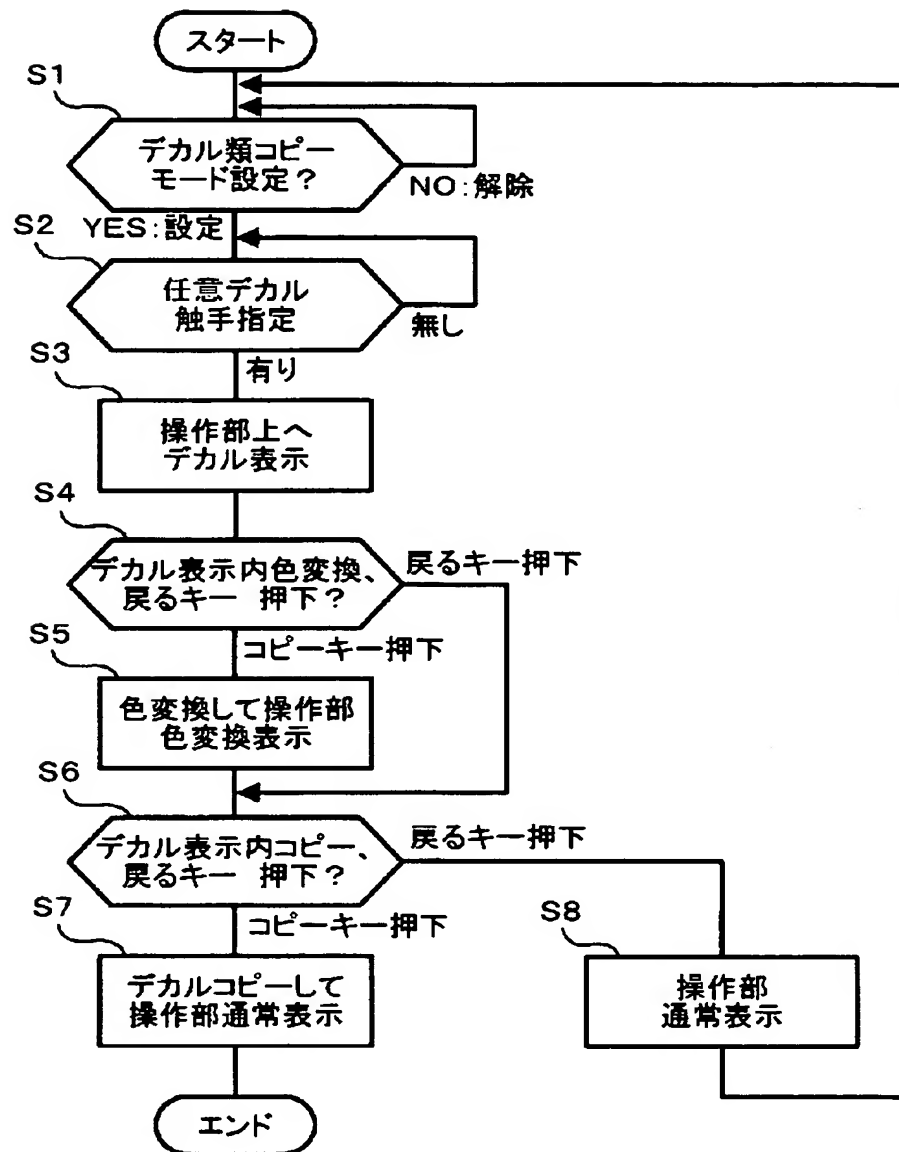
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 デカルの確認が容易で円滑な操作が可能な情報処理装置を提供する。

【解決手段】 接触センサを内蔵するデカル 7 と、デカルを表示する操作表示手段 8 と、操作表示手段 8 に表示されたデカルを用紙に印刷する印刷手段 9 と、各手段を制御するメイン制御手段 1 とを備えた情報処理装置。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 0 6 4 2 4 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1. 変更年月日

2 0 0 2 年 5 月 1 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

氏 名

株式会社リコー